



◀この一般質問の映像はこちらから

環境問題について



高橋 輝

質問

CO2 排出ゼロ宣言の考えは

町 宣言する準備をしている

問 町としての地球温暖化対策は。

答 (環境課長) ゴミ分別による排出量の削減、省エネルギー、再生可能エネルギーの利活用に取り組んできました。今後、CO2削減の取り組みや、住民への広報を強化したい。

問 森林伐採を伴う太陽光発電施設の建設を規制する考えは。

答 (環境課長) 条例施行後に、森林伐採を伴う許可申請は出ていない。よって一定の抑制効果があるようなので、規制までは考えていない。

問 池田地区御用邸下メガソーラー開発に反対の要望書を提出する考えは。

答

(町長) 今のところ、反対の要望書を出す予定はないが、関係者等に条例に対応するよう要望している。

問 地球温暖化対策CO2排出実質ゼロ宣言をする考えは。

答 (町長) これまで、温室効果ガス排出に向け普及啓発している。CO2排出ゼロ宣言を近々表明する準備をしている。

1 海面上昇 高潮 <small>(山形、鳥取)</small>	2 洪水 豪雨 <small>(大分)</small>	3 インフラ 機能停止 <small>(福島原発、避難中のサービス)</small>
4 熱中症 <small>(大分、熊本)</small>	将来の 主要なリスク とは？ <small>複数の分野地域におよぶ 主要リスク 出典 IPCC 第5次評価報告書 WGII</small>	5 食糧不足 <small>(食糧完全保障)</small>
6 水不足 <small>(熊本、鹿児島の水不足)</small>	7 海洋生態系 損失 <small>(漁業への影響)</small>	8 陸上生態系 損失 <small>(地域及び内海の生態系損失)</small>

IPCC第5次評価報告書・JCCC

特定外来生物対策について

質問

特定外来生物対策への啓発策は

町 町広報紙やホームページで周知啓発

問 町への特定外来生物移入の現状は。

答 (環境課長) 県の調査に合わせて町独自の調査も実施している。アライグマ、アメリカミンク、オオクチバス、コクチバス、オオハンゴンソウ、オオキケンケイギク等が確認されている。

問 特定外来生物の対策は。

答 (環境課長) 毎年、オオハンゴンソウの駆除活動を実施している。令和元年は学校生徒、ボランティア等約百名が八幡ツツジ園地内でオオハンゴンソウの駆除活動を行った。

問 特定外来生物に関する町民への啓発策は。

答

(環境課長) 町広報紙やホームページで駆除等について周知啓発を図っている。また、特定外来生物は、ポスターやチラシを配布して情報提供に努めている。

問 セイタカアワダチソウを駆除する考えは。

答 (環境課長) 特定外来生物を優先し駆除を行い、セイタカアワダチソウに関しても周知、啓発を行っていききたい。



侵略的外来種ワースト100に入るセイタカアワダチソウ

※ほかに「ふるさと納税」の質問もございます。